

教育・保育目標

本園の理念



「気づき考え行動し、仲間と共に未来を拓く子の育成」

教育・保育目標	指 標
よく遊び 気づき 考える子	<ul style="list-style-type: none"> ・ 周りの「もの ひと こと」に主体的に関わり楽しむ子 ・ 遊びの中から様々なことに気づき試したり工夫したりして遊ぶ子 ・ 話を最後までしっかり聞ける子 ・ 自分の思いを言葉で表現できる子 ・ よいこと悪いことが分かり、考えて行動する子
思いやりのある子	<ul style="list-style-type: none"> ・ 相手の気持ちを考えて行動できる子 ・ 進んで友達と関わり、協力して遊びを創り出す子 ・ 進んで身近な人に関わり、愛情や信頼感をもって生活する子 ・ 動植物に親しみ、優しく関わられる子 ・ 資源や物を大切にする子
明るく元気な子	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的生活習慣が身に付き、安全に行動できる子 ・ 進んであいさつができる子 ・ 進んで体を動かし楽しみながら遊べる子 ・ 好き嫌いなく何でも食べる子 ・ 粘り強く最後まで頑張る子

めざす こども園像 ～ つなぐ ～	<ul style="list-style-type: none"> ○一人一人が大切にされ、やさしさと思いやりにあふれたこども園 ○乳幼児にふさわしい環境が用意され、知的好奇心を育み、自己発揮しながら楽しく遊べるこども園 ○草花や木、自然と身近にふれあえる潤いのあるこども園 ○保護者や地域から信頼され、共に子どもを育てるこども園
めざす 保育者像 ～ 融 合 ～	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 心身共に健康で、情熱と使命感のある保育者 ◎ 子どもの内面理解と、個に応じた指導に努める保育者 ◎ 保育・教育に対し自覚と誇りを持ち、研究・修養に努める保育者 ◎ 子ども・保護者・地域・同僚から信頼される保育者 ◎ 和と協働を大切にする保育者



教育・保育方針



～ 健やか・かかわり・考え・創り・拓く ～

本園では、発達に応じた適切な環境の中で、子ども一人一人の特性を尊重し、楽しい集団生活を通して、乳幼児期にふさわしい様々な活動を展開します。

乳児期には、全ての発達の基礎となる保育士との情緒的な絆を大切に育み、人や物への興味や好奇心を育てながら心身の発達を促していきます。また、保育士が仲立ちとなりながら友達と遊ぶ楽しさを味わわせ、言葉の獲得や情緒的・社会的な発達を促し、自分であろうとする気持ちを大切にしながら、基本的生活習慣の基礎を培います。

さらに幼児期には、仲間意識の芽生えを大切にしながら、協同的な遊びの中で様々な葛藤体験を経て、子ども一人一人が自分の力を十分に発揮できるよう援助します。また、しっかりと基本的生活習慣を身に付け、規範意識の芽生えを大切に、知的好奇心や夢を育みながら小学校以降の学習の基礎を培います。

本園の保育・教育目標である「気づき考え行動し、仲間と共に未来を拓く子」を目指し、0歳から5歳までの発達に応じた様々な経験を通して、“健やかな心身”“かかわる力”“考える力”“創り出す力”“拓く力”を育て、生きる力の基礎を培っていきます。

園経営方針

- ①こども園の職員が共通理解を図り、和と協働を大切にしながら一体となって園運営に努める。
- ②教育・保育目標の具現化を図り、目標達成に向け全職員が連携しながら実現に努める。
- ③一人一人が生かされ、育ち合う学級経営に努める。
- ④PDCA サイクルを活用し保育改善を行う。様々な研修や実践研究に全職員が積極的に参加し、資質向上に努める。
教育効果を高めるため、家庭・地域・関係機関との連携を図る。
- ⑤保・こ・小との連携を通し、幼児教育とその後続く教育を見据え、生きる力の基礎を培う事に努める。
小学校との連携を図り、一貫した経営に努める。

重点目標

- ①環境を通して行う保育の充実を図る
～直接的・具体的な体験を通し、心情・意欲・態度を育てる
- ②乳幼児期の発達の特性を踏まえた総合的な指導の充実を図る
～実態に即した指導計画の改善・充実
発達や学びの連続性を踏まえた援助の工夫・基本的な生活習慣の形成
- ③園児一人一人が大切にされ、良さや可能性を認め合う学級経営の充実
- ④PDCA サイクルを生かした教育・保育実践
～計画的・効果的な園内研修の充実、特別支援教育の充実、～
- ⑤保・こ・小・地域との連携
～幼児期の終わりまでに育ってほしい姿の共有～ ～地域保育所との交流～

